



NTT東西など通信18社が固定電話の双方向番号ポータビリティを2025年1月から開始、事業者間での番号継続利用が拡大へ

text: XEXEQ編集部

(記事は執筆時の情報に基づいており、現在では異なる場合があります)

スポンサーリンク



Ads by Google

この広告の表示を停

広告表示設定 ⓘ

関連するタグ

🔗 [コンピュータ](#) 🔗 [インターネット](#) 🔗 [DX](#) 🔗 [通信](#) 🔗 [コミュニケーション](#) 🔗 [サービス](#) 🔗 [モバイル](#) 🔗 [総務](#)

目次

閉じる



1. 記事の要約
2. 通信18社による固定電話の双方向番号ポータビリティ開始へ
3. 固定電話の双方向番号ポータビリティの概要
4. 番号ポータビリティについて
5. 参考サイト

記事の要約

- 通信18社が固定電話の双方向番号ポータビリティを発表
- 2025年1月から受付開始へ
- NTT東西以外のサービス間でも番号の継続利用が可能に

スポンサーリンク

動画編集を仕事に活かすなら
Premiere Pro
内製や副業にも最適な業界標準アプリ



通信18社による固定電話の双方向番号ポータビリティ開始へ

NTT東西など通信18社は2024年11月12日、固定電話サービスにおける双方向番号ポータビリティの受付を2025年1月から開始すると発表した。これまでNTT東西が払い出した固定電話番号のみが対象だった番号ポータビリティ制度が大きく拡充され、各固定電話サービス提供事業者間での番号の継続利用が可能になる。[\[1\]](#)

双方向番号ポータビリティの対象には、各固定電話サービス提供事業者が払い出した固定電話番号に加え、ひかり電話専用番号帯も含まれることになった。一方で、エリアによる制約や契約サービスの継承ができないなどの制限事項も存在するため、詳細は各事業者のホームページで確認が必要だ。

参加する通信事業者には、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル、NTTコミュニケーションズなど大手各社が名を連ねている。総務省の電気通信番号計画に基づく対応であり、PSTN（従来の公衆交換電話網）のIP網への移行完了時期に合わせた実施となる。

固定電話の双方向番号ポータビリティの概要

項目	詳細
開始時期	2025年1月
対象番号	固定電話番号（0AB-J番号）、ひかり電話専用番号帯
参加事業者数	18社
主な参加事業者	NTT東西、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル、NTTコミュニケーションズ
制限事項	エリアによる制約あり、契約サービスの継承不可

スポンサーリンク



番号ポータビリティについて

番号ポータビリティとは、電話サービスの利用者が事業者を変更する際に、既存の電話番号をそのまま継続利用できる制度のことを指す。主な特徴として以下のような点が挙げられる。

- 利用者の事業者選択の自由度を高める
- 電話番号変更に伴う手続きや周知の手間を省く
- 通信市場の競争促進に寄与する

固定電話の番号ポータビリティは、これまでNTT東西が払い出した番号に限定されていたが、2025年1からは全ての固定電話事業者間で番号の継

1. [^](https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20241112_01.html) NTT東日本. 「固定電話サービス提供事業者間における双方向番号ポータビリティの開始について | お知らせ・報道発表 | 企業情報 | NTT東日本」. https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20241112_01.html, (参照 24-11-14).
2. 総務省. <https://www.soumu.go.jp/>

※上記コンテンツはAIで確認しておりますが、間違い等ある場合はコメントよりご連絡いただけますと幸いです。

「コンピュータ」に関するコラム

- [YUV12とは？意味をわかりやすく簡単に解説](#)
- [Z80とは？意味をわかりやすく簡単に解説](#)
- [アーカイブ属性とは？意味をわかりやすく簡単に解説](#)
- [YUV411とは？意味をわかりやすく簡単に解説](#)
- [アーカイブファイルとは？意味をわかりやすく簡単に解説](#)
- [アーキテクチャとは？意味をわかりやすく簡単に解説](#)
- [YUVとは？意味をわかりやすく簡単に解説](#)
- [Xvidとは？意味をわかりやすく簡単に解説](#)
- [YAML\(YAML Ain't Markup Language\)とは？意味をわかりやすく簡単に解説](#)
- [YCbCrとは？意味をわかりやすく簡単に解説](#)

「コンピュータ」に関する
コラム一覧

「コンピュータ」に関するニュース

- [Microsoft社が.NET Framework 2024年11月アップデートを公開、ASP.NET CoreとEF Coreの改善により開発効率が向上](#)
- [Visual Studio 2022 17.12がC++開発機能を強化、multidimensional subscript operatorsの実装でコード効率が向上](#)
- [MicrosoftがDirectMLのNPU対応を強化、Windows CopilotでのAIアプリケーション開発が効率化へ](#)
- [【CVE-2024-50098】Linux kernelのUFSシャットダウン時のデッドロック問題が修正、システムの安定性が向上](#)
- [NVIDIAがAI Enterprise・Omniverseを日本で提供開始、国内テクノロジーリーダーのAI開発が加速へ](#)
- [エヌ・シー・エヌがTECTURE AWARDに協賛、SE構法採用の木造建築作品に新設のNCN賞を贈呈へ](#)
- [New RelicがGartnerのDigital Experience Monitoringでリーダーポジションとビジョンの最上位を獲得、統合型DEMソリューションの強化で顧客体験向上へ](#)
- [codeless technologyのそのままDXが安城市のペーパーレス化実証実験に採用、行政DXの推進に期待](#)
- [インプレスがPlatform Engineering入門書『Backstageをはじめよう！』を発行、開発効率化の実践的ガイドを提供](#)
- [Linux Foundationが日本語版Linuxシステム管理コースを提供開始、プロフェッショナルなシステム管理者の育成を加速](#)

「コンピュータ」に関する
ニュース一覧

スポンサーリンク